

講師： JICA マレーシア事務所 次長 稲垣 良隆 氏、有原 美智子 氏

【講義・視察】国立大学法人筑波大学 マレーシア校

「筑波大学マレーシア校の概要」

講師：国立大学法人筑波大学 学際サイエンス・デザイン専門学群

マレーシア校 学群長理学博士 辻村 真貴 氏

2月13日（木曜日）

【学校交流】テナガナショナル大学（UNITEN）

【視察】マレーシア青年スポーツ省（Kementerian Belia dan Sukan（KBS））
管轄の機関

・ペルバダナン スタジアム マレーシア（PSM）

（マレーシアのスポーツ施設や複合施設の管理と運営を行っている）

・インスティテュート スカン ヌガラ（ISN）

（マレーシアのスポーツ科学とスポーツ医学の発展促進を目的に設立された）

・マジリス スカン ヌガラ マレーシア(MSN)

（マレーシア全州におけるスポーツの管理と発展を担っている）

2月14日（金曜日）

【学校交流】スルタン イドリス 教育大学（UPSI）

【ホームビジット】スンガイ スッキヤ村

【ホストファミリー歓送会】

2月15日（土曜日）

【視察】国立博物館、国立モスク、独立広場、セントラルマーケット、王宮、
プトラモスク、ペトロナスツインタワー（超高層ビル）

2月16日（日曜日）

【視察】ロイヤルセランゴールビジターセンター（伝統工芸錫製品工場）

【視察・交流】本格十割そば 元年堂（クアラルンプール パブリカ店）

カルチャーリンク マレーシア スーパーバイザー 石川 翼 氏

【ワークショップ】報告会準備（渡航成果のとりまとめ、帰国後の活動計画
（アクション・プラン）の作成）

2月17日（月曜日）

【視察】バトゥ洞窟

【報告会】渡航成果・帰国後の活動計画発表

クアラルンプール国際空港より出発

2月18日（火曜日）

成田国際空港到着

2. 記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）

 <p>◆ASEAN加盟の歴史</p> <p>ASEANについて知ろう！</p> <p>日米企業：14,500社以上</p>	
2024年8月27日【講義】 「ようこそ、日本アセアンセンターへ」	2024年8月27日【講義】集合写真



2025 年 1 月 10 日【講義】派遣国理解講義



2025 年 1 月 10 日【講義】派遣国理解講義



2025 年 2 月 4 日【参加者説明会】



2025 年 2 月 4 日【参加者説明会】

派遣プログラム



2025 年 2 月 11 日【出発前オリエンテーション】



2025 年 2 月 12 日【表敬訪問】在マレーシア日本国大使館



2025 年 2 月 12 日【講義】
「JICA マレーシア事務所 事業概要」



2025 年 2 月 12 日【講義・視察】
国立大学法人筑波大学 マレーシア校



2025 年 2 月 13 日【学校交流】
テナガショナル大学 (UNITEN)



2025 年 2 月 13 日【学校交流】
テナガショナル大学 (UNITEN)



2025 年 2 月 13 日【視察】
ペルバダナン スタジアム マレーシア (PSM)



2025 年 2 月 13 日【視察】
インスティテュート スカン ヌガラ (ISN)



2025 年 2 月 13 日【視察】
マジリス スカン ヌガラ マレーシア (MSN)



2025 年 2 月 14 日【学校交流】
スルタンイドリス教育大学 (UPSI)



2025 年 2 月 14 日【学校交流】
スルタンイドリス教育大学 (UPSI)



2025 年 2 月 14 日【ホームビジット】
スンガイ スッキヤ村



2025 年 2 月 14 日【ホストファミリー歓送会】
スンガイ スッキヤ村



2025 年 2 月 15 日【視察】
マレーシア国立博物館



2025 年 2 月 15 日【視察】国立モスク



2025 年 2 月 15 日【視察】独立広場



2025 年 2 月 15 日【視察】セントラルマーケット







2025 年 2 月 15 日【視察】プトラモスク



2025 年 2 月 16 日【視察】
ロイヤルスランゴールビクターセンター



2025 年 2 月 16 日【視察・交流】本格十割そば
元年堂（クアラルンプール パブリカ店）

	
2025 年 2 月 16 日【ワークショップ】	2025 年 2 月 17 日【視察】バトゥ洞窟
	
2025 年 2 月 17 日【報告会】	2025 年 2 月 17 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

プレプログラム（オンライン事前学習）

◆ 大学生（プレプログラム 1 回目：2024/8/27）

日本アセアンセンターの講義を拝聴出来たことがとても貴重な機会でした。

また、派遣メンバーは、都市環境、国際交流、日本語教育など学んでいる分野の幅が広く、それぞれの化学反応がとても楽しみです。分野が幅広いからこそ、このプログラムを経て何を達成したいのか、最終的なゴールや目的を明確にすることが必要であると考えました。

◆ 大学生（プレプログラム 2 回目：2025/1/10）

マレーシアに実際に住んでいる方のお話を聞いて、沢山の新しいことを学びました。気候や言語のことなど大変勉強になりました。特にマレーシアの宗教については、直接会話する際に気を付けなければならないポイントもあるので、事前に詳しく学ぶことができて良かったです。今後自分たちがどのように日本の魅力を紹介すべきかという、ヒントになりそうな内容もあったので、この講義を生かしていきたいです。そしてマレーシアの人は新しいものや、Instagram での情報収集が盛んだということを知ったので、Instagram での発信を積極的にしていきたいと思いました。

◆ 大学生（プレプログラム 3 回目：2025/2/4）

今回のプレプログラムでは、実際に訪問する場所や日程の詳細、交流内容の具体的な説明などありました。初めは 1 週間の訪問は短いと感じていましたが、内容が盛り沢山で、政治的方面だけではなく、学校交流を通して教育に関して知ることができたり、また、スポーツ庁からスポーツに関しても学べるということで、あらゆる視点から日本とマレーシアの関係について考える良い機会になるのでは、とますます訪問が楽しみになりました。さらに、帰国後の具体的なアクション・プランも渡航中に考えなければならないため、これからもっと情報発信を頑張っていきたいです。

派遣プログラム

◆ 大学生

異なる文化、言語背景を持つ方々と交流をする時、どうしても身構えてしまうところが多々ありますが、結局は「人対人」だからこそ相手のことをよく理解しよう、仲を深めようという気持ちで接していくことが何より重要なことであるし、そうすればそのような文化の障壁も乗り越えていけると感じました。マレーシアの方々は多民族国家ということもあり、私たちのような外国人に対してもとても柔軟な対応で、むしろ初対面の日本人同士より安心感を得られる場面が多くありました。積極的に名前を呼んでくれること、一つ一つ丁寧に説明してくれること、日本語を話す努力をしてくれること、どれも私たちや日本のことをさらに知ろうという思いで接してくれることが、とても嬉しかったです。

◆ 大学生

元年堂さんの「日本の文化を海外に伝え、（元年堂の店舗がある）三島に海外の人を呼び込むことが最終目標」という言葉が印象的でした。ビジネスモデルも全て合理的で将来起業にも興味があるため非常に参考になりました。また、スタッフとの連携や新商品のトライアルの仕方なども相互的な利益があり、感銘を受けました。おそばも人生で一番美味しかったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 交流校学生

ナシレマ（マレーシアの伝統料理。ココナッツミルクで炊いたご飯）の調理体験は特に交流が深まり、交換学生全員がマレーシアの国民食を学ぶ貴重な機会でした。

◆ 交流校学生

交流はとても魅力的でした。人種や社会的な違いに関係なく、相手を理解しようとし、しっかりと会話を重ねながら強い絆を築こうとしていました。日本の学生さんはとても観察力があり、両国の共通する伝統や文化のつながりを見つけ出しているようでした。例えば、マレーシアの伝統的な遊び「バトゥ・スレンバン」と、日本の「お手玉」が似ていることに気がついていました。両国の伝統を教え合う今回の活動は、マレーシアの文化を学ぶだけでなく、自国である日本についても理解を深める機会になったのではないかと思います。

「海外の人でも自分の国の伝統を楽しんでくれるのなら、自分の国の文化の魅力をもっと知りたい」と思うようになれば、そこから探究心が広がっていくのではないのでしょうか。伝統は、私たちのアイデンティティの一部であり、自分たちのルーツを知る大切な手がかりになります。今回の交流を通じて、どの国の伝統にも独自の魅力と特別な価値があるのだと改めて感じました。

個人的には、イベント中にペアになった相手がとても好奇心旺盛だったのが印象に残っています。私たちは興味の方向性こそ違っていましたが、彼女はその違いを受け入れ、理解しようとしてくれました。彼女はとても親切で、日本から持参したお土産をプレゼントしてくれました。本当に感謝しています。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等 プレプログラム（オンライン事前学習）

 <p>I am going to Malaysia in a week. (from February 11th to February 18th) 🇲🇾 🇯🇵</p> <p>#JENESYS2024 #japan #malaysia #JENESYSASEAN</p> <p>公開質問 翻訳を見る</p>	 <p>How to spend in Japan?</p> <p>Real-Life in Japan</p> <p>Sharing the attractions of Japan is extremely fun, and I want more people to love Japan. It is a great source of pride for us. However, I don't want to allow visiting Japan just as an opportunity. We also want to share real-life experiences of living in Japan to provide a more comprehensive perspective.</p> <p>Through the JENESYS program, I have thought a lot about what I want to know...</p> <p>Japan has many attractions, including beautiful nature, hot springs, and traditional culture. Sharing these attractions is extremely important, and as a Japanese person, I feel good about doing so.</p> <p>However, at the same time, some people who come to Japan and participate in the program without understanding the real Japan to foreign children, and through this work, I have encountered many struggles and conflicts.</p> <p>I want to use this opportunity to think about how we can make Japan a more comfortable place for everyone and use my thoughts on this platform.</p>
<p>2025 年 1 月 17 日（Instagram）</p> <p>（カルチャーリンクさんの講義に出てきた）元年堂さんからたくさんのことを学びました。マレーシアに行くのが楽しみです。</p>	<p>2025 年 2 月 5 日（Instagram）</p> <p>プログラムを通じて、私も発信していきたいことを色々考えました。</p> <p>日本には壮大な自然や美しい文化、伝統的な食など様々な魅力があります。そうした魅力を発信していくことは非常に重要なことであり、日本人として誇りに思います。</p> <p>しかし、その一方で来日して日本で生活している方々の中には様々な苦勞をしている人もいます。私は外国人児童生徒に日本語を教える活動をしていますが、色々な葛藤を感じることもあります。日本で暮らす全ての人々にとって居心地のよい「多文化共生」とは何かを考えるきっかけとして、ここで発信していきたいと思います。</p>

派遣プログラム

 <p>Hari ini saya ke UNITEN dan KBS! Di UNITEN, saya dapat mengadakan pertukaran budaya secara langsung dengan pelajar, yang meninggalkan pengalaman yang sangat tidak dapat saya lupakan. Di KBS, kami dapat melihat pelbagai teknologi bukan yang ditunjukkan di Malaysia dan menarik untuk membandingkannya dengan Jepun. Hari ini saya ke UNITEN dan KBS! UNITENでは学生と直接文化交流をすることができて大変思い出に残りました。 出に残りました。 KBSでは様々な発展したマレーシアのスポーツ技術を視察し、日本との比較ができて興味深かったです。</p>	 <p>今日はUPSIに行ってきました 書道を体験したり、伝統的な食べ物を食べたりするのは楽しかったです。 スッキヤ村ではホストファミリーと楽しい時間を過ごしました。</p>
<p>2025 年 2 月 13 日 (Instagram)</p> <p>今日は UNITEN と KBS が管轄している機関に行ってきました。UNITEN では学生と直接文化交流をすることができて大変思い出に残りました。KBS では様々な発展したマレーシアのスポーツ技術を視察し、日本との比較ができて興味深かったです。</p>	<p>2025 年 2 月 15 日 (Instagram)</p> <p>今日は UPSI に行ってきました 書道を体験したり、伝統的な食べ物を食べたりするのは楽しかったです。 スッキヤ村ではホストファミリーと楽しい時間を過ごしました。</p>
 <p>Day 4 🌟 The people of Malaysia take great pride in their culture, which I find truly wonderful. 🇲🇾 It also made me realize the importance of deepening my understanding of my own country.</p>	 <p>元年堂 Gannendo 🍜 It was the best soba and tempura I have ever eaten. It was the best soba and tempura I have ever had. There was a display of Japanese Kyoto Nishijin textiles. Sadap!!!</p>
<p>2025 年 2 月 16 日 (Instagram)</p> <p>マレーシアの人々は自分たちの文化に大きな誇りを持っており、それは本当に素晴らしいことだと思います。自分の国に対する理解を深めることの大切さを実感しました。</p>	<p>2025 年 2 月 14 日 (Instagram)</p> <p>元年堂さんのそばと天ぷらは、今まで食べた中で一番おいしかったです。京都西陣織も展示されていました。</p>



2025 年 2 月 14 日（テナガナショナル大学の Facebook）

2 月 13 日 - テナガナショナル大学（UNITEN）は、マレーシア青年スポーツ省（KBS）マレーシアとのコラボレーションによる JENESYS 2024 プログラムで、日本からのゲストをお迎えしました。今朝の開会式で、UNITEN 副学長のカイルル・サレー・モハメド・サハリ教授は、このプログラムは相互理解を育むプラットフォームとして機能し、教育と文化的多様性が一体となって、すべての人にとってより明るい未来を形作るものであると強調しました。

「このプログラムを通じて、日本の友人たちは UNITEN のアカデミックな環境を体験するだけでなく、マレーシアの豊かな文化的・社会的多様性についても見識を深めてくれることを確信しています」と語りました。このプログラムは、新しい知識、忘れられない経験、そして生涯にわたるつながりを育む変革の旅となるでしょう。（後略）



2025 年 2 月 14 日（JICA マレーシア事務所の Facebook）

2 月 12 日（水）外務省が推進する対日理解促進プログラム「JENESYS2024」で日本の大学・大学院生 8 名が JICA 事務所を訪問しました。

JICA 事務所からは、稲垣次長が JICA マレーシア事務所の事業概要を説明しました。

事業概要説明の後には、マレーシアで展開中の JICA プロジェクトに関する質問から高所得国入り目のマレーシアに対して JICA としてどのような領域に支援をしていくのか、JICA 海外協力隊員のマレーシアでの経験についてなど多岐にわたる質問がされました。

今回のプログラムでの滞在は 18 日までですが、限られた時間の中で学生の皆さんがマレーシアの人や歴史、文化などに触れられ、日本を客観的に見ながら魅力を発信し、両国の友好関係に寄与されますことを期待しております。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全 1 グループが発表

		
<p>【成果の発表】</p> <p>プログラムでの学び（日本・マレーシアの魅力や気づき）</p> <ol style="list-style-type: none">① いかにマレーシアについて無知であったか （イスラム教にとってのお祈りの大切さ、モスクでのポーズの決まり）② マレーシアの多文化多民族、他人を受け入れる環境ができていること③ ハラル認証とムスリムフレンドリーについての学び 日本におけるハラル・ムスリムフレンドリー提供や、祈禱室が不足している実情④ 海外に出て感じた日本建築物の美しさ⑤ 海外に出て感じた日本のおもてなしのすばらしさ⑥ マレーシア学生の反応の良さに感銘し、その大切さを感じた <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none">● 全員で実施するアクション・プラン 2025 年 3 月中に、参加者 8 名全員で、子どもたちへ国際的な視点と気づきを与えるイベントを開催します。対面イベントですが、オンラインでもつなぎハイブリッドで実施します。 開催の理由及び目的は、日本に住む人々へ多文化社会への理解を深める機会を設けるためです。 具体的な内容は、JENESYS プログラムの経験や気づきの紹介、マレーシアの伝統ゲームの他、ジェスチャーゲーム、クイズなどを行います。● 個別で実施するアクション・プラン<ul style="list-style-type: none">・地元メディアに自分の気づきを紹介してもらい、多くの人へ多文化を紹介する。（1 名）・SNS 発信を通して日本とマレーシアについての発信を行う。（複数名）・将来マレーシア留学等をする（1 名）		

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）